

## 2022年度 第2四半期 決算

---

- I. 2022年度 上期 決算概要
  - II. 2022年度 第2四半期 決算概要
  - III. 2022年度 通期 業績予想
  - IV. 補足資料
- 

シャープ株式会社  
2022年11月4日

### 連結業績概要

---

- ・ 2022年度 [上期の売上高](#)は、米州・アジアのブランド事業や車載向けディスプレイなど、注力分野が伸長し、[前年同期を上回る](#)
- ・ [営業利益・経常利益・最終利益](#)は、急速な円安の進展やディスプレイ市況の悪化により、[大幅な減益](#)となる
- ・ 上期の実績、足元の事業環境を反映し、[通期の業績予想を修正](#)

# I. 2022年度 上期 決算概要

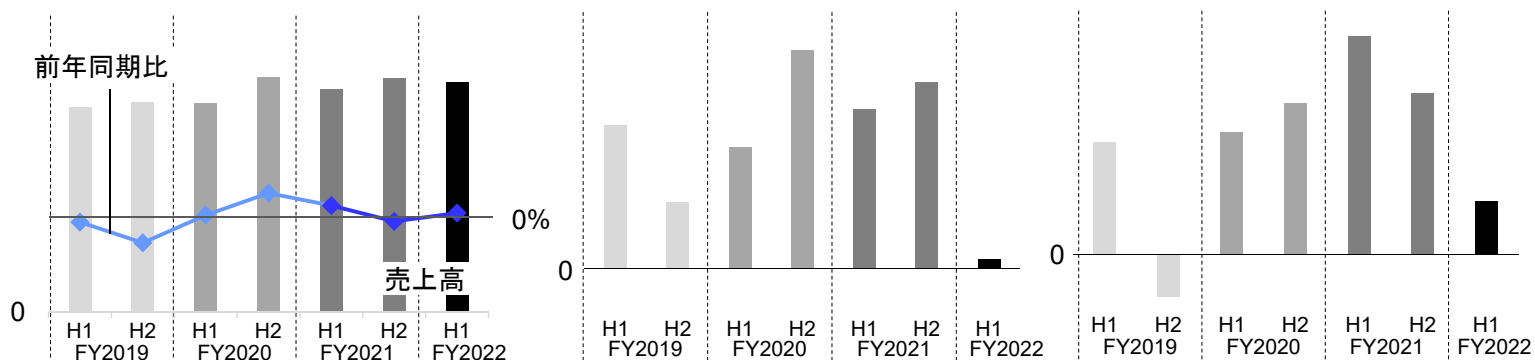
## 2022年度 上期 連結業績概要

	2021年度			2022年度	
	上期	下期	年間	上期	前同比
売上高	1,218.2	1,277.3	2,495.5	1,257.9	+3.3%
営業利益	39.0 (3.2%)	45.6 (3.6%)	84.7 (3.4%)	2.4 (0.2%)	-93.8%
経常利益	50.8 (4.2%)	64.0 (5.0%)	114.9 (4.6%)	10.2 (0.8%)	-79.9%
最終利益	42.5 (3.5%)	31.4 (2.5%)	73.9 (3.0%)	10.3 (0.8%)	-75.7%
平均為替レート					
ドル円	108.80	113.96	111.38	132.98	
ユーロ円	129.39	128.73	129.06	137.22	

売上高

営業利益

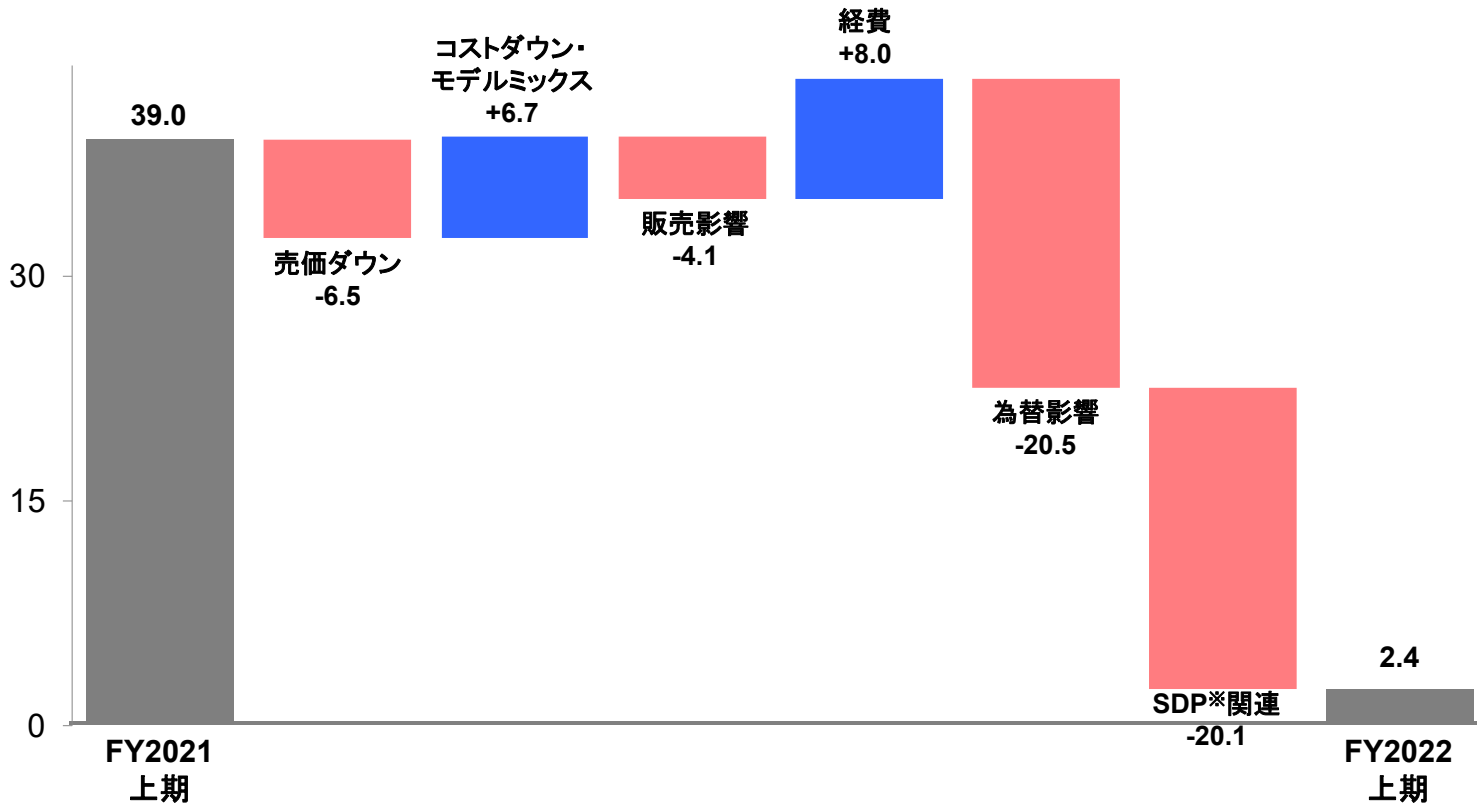
最終利益



# (上期)営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)

(単位:十億円)

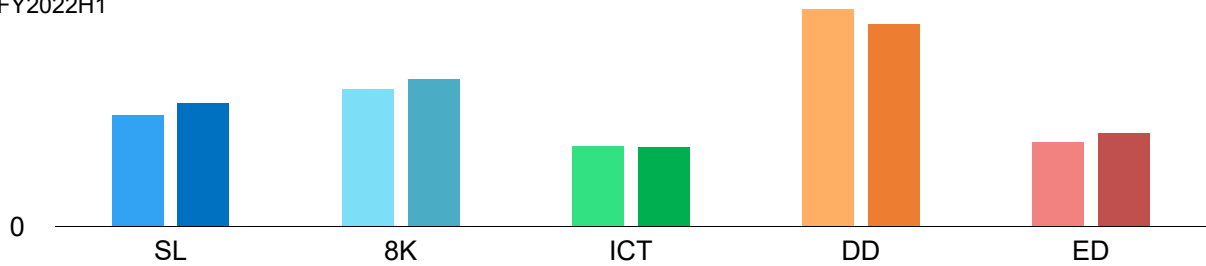


## (上期)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度	
	上期	下期	年間	上期	前同比
スマートライフ	223.9	222.2	446.1	248.1	+10.8%
8Kエコシステム	276.0	291.5	567.6	295.4	+7.0%
ICT	162.1	161.9	324.0	159.4	-1.6%
ブランド事業計	662.1	675.7	1,337.8	703.0	+6.2%
ディスプレイデバイス	436.7	422.8	859.6	406.6	-6.9%
エレクトロニックデバイス	170.0	226.7	396.8	187.8	+10.4%
デバイス事業計	606.8	649.6	1,256.5	594.4	-2.1%
小計	1,269.0	1,325.3	2,594.4	1,297.5	+2.2%
調整額	-50.8	-47.9	-98.8	-39.5	-
合計	1,218.2	1,277.3	2,495.5	1,257.9	+3.3%

左棒: FY2021H1  
右棒: FY2022H1



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

5

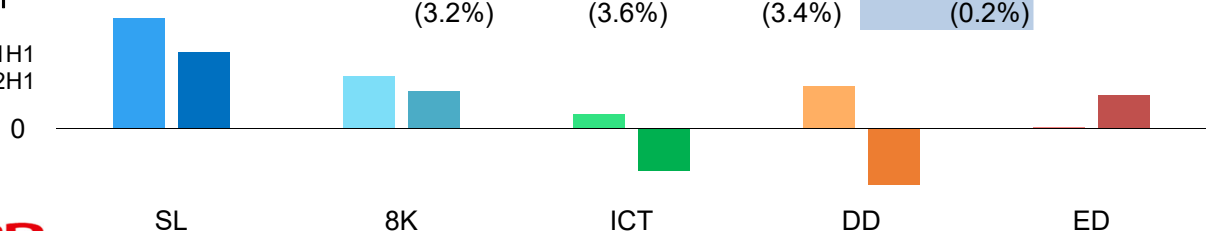
## (上期)セグメント別営業利益

※( )内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度	
	上期	下期	年間	上期	前同比
スマートライフ	24.4 (10.9%)	23.8 (10.7%)	48.2 (10.8%)	16.8 (6.8%)	-31.1%
8Kエコシステム	11.5 (4.2%)	13.4 (4.6%)	24.9 (4.4%)	8.1 (2.8%)	-29.0%
ICT	3.1 (1.9%)	0.9 (0.6%)	4.0 (1.2%)	-9.3 (-5.9%)	-
ブランド事業計	39.1 (5.9%)	38.1 (5.6%)	77.2 (5.8%)	15.7 (2.2%)	-59.8%
ディスプレイデバイス	9.3 (2.1%)	11.0 (2.6%)	20.3 (2.4%)	-12.3 (-3.0%)	-
エレクトロニックデバイス	0.3 (0.2%)	6.6 (2.9%)	6.9 (1.8%)	7.4 (3.9%)	+1,913.4%
デバイス事業計	9.6 (1.6%)	17.6 (2.7%)	27.3 (2.2%)	-4.9 (-0.8%)	-
小計	48.8 (3.8%)	55.7 (4.2%)	104.6 (4.0%)	10.7 (0.8%)	-77.9%
調整額	-9.8	-10.0	-19.8	-8.3	-
合計	39.0 (3.2%)	45.6 (3.6%)	84.7 (3.4%)	2.4 (0.2%)	-93.8%

左棒: FY2021H1  
右棒: FY2022H1



SHARP

6

## Ⅱ. 2022年度 第2四半期 決算概要

SHARP

7

### 2022年度 第2四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

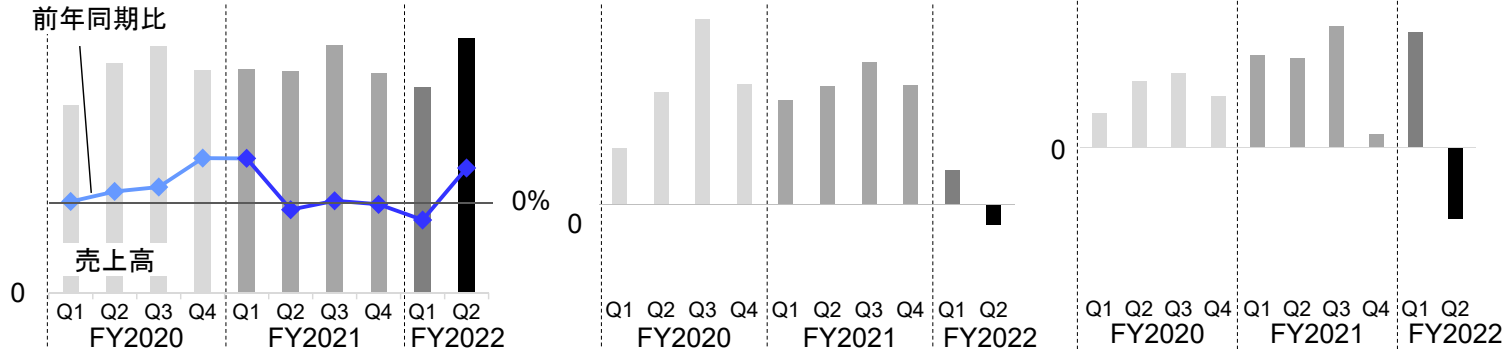
	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8	+14.7%
営業利益	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	20.8 (3.5%)	6.1 (1.1%)	-3.6 (-0.5%)	-
経常利益	25.6 (4.2%)	25.2 (4.2%)	33.7 (5.0%)	30.3 (5.0%)	17.4 (3.1%)	-7.2 (-1.0%)	-
最終利益	21.6 (3.5%)	20.8 (3.4%)	28.3 (4.2%)	3.1 (0.5%)	26.9 (4.8%)	-16.5 (-2.4%)	-
平均為替レート							
ドル円	108.49	109.11	112.71	115.21	128.57	137.38	
ユーロ円	130.45	128.33	128.57	128.90	136.60	137.84	

売上高

営業利益

最終利益

前年同期比



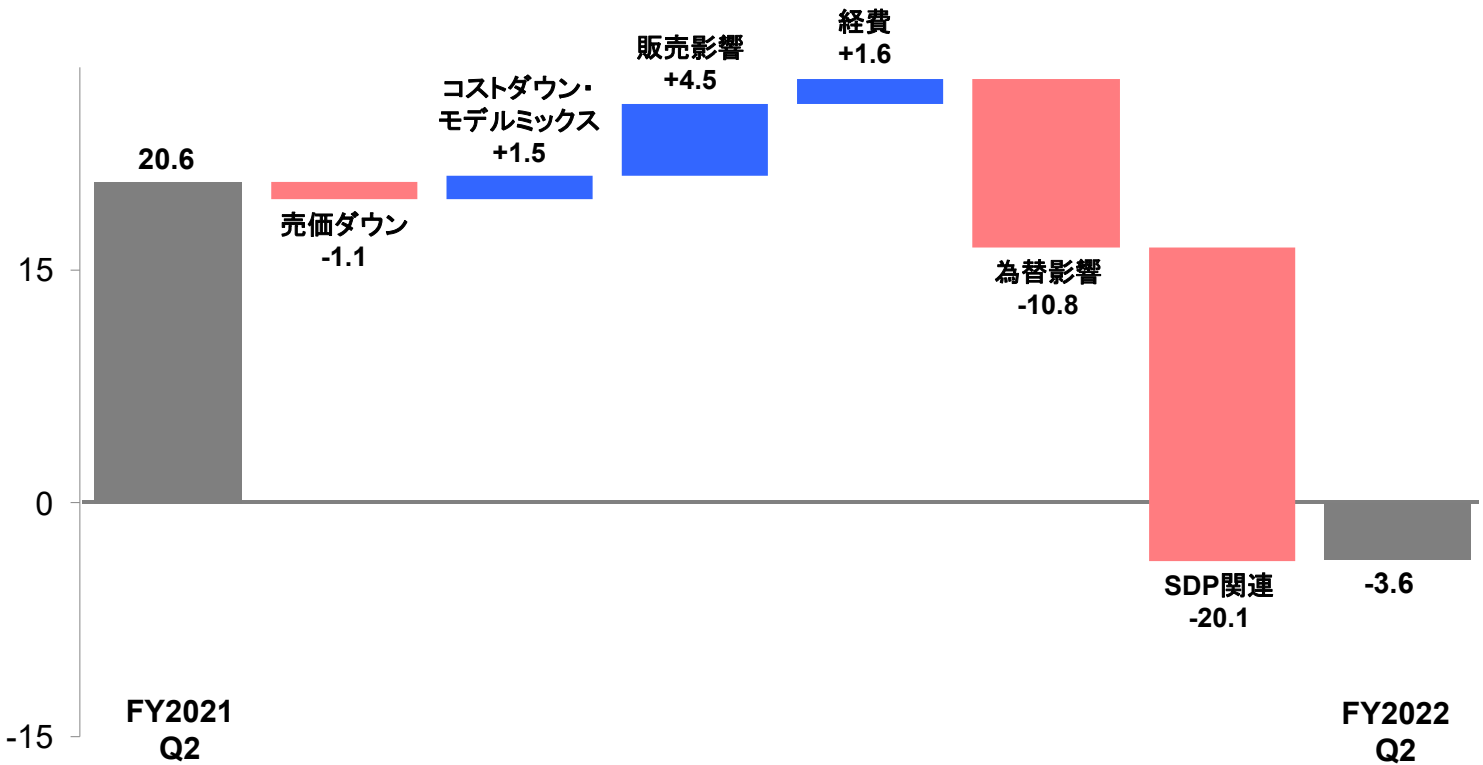
SHARP

8

# (第2四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)

(単位:十億円)



SHARP

9

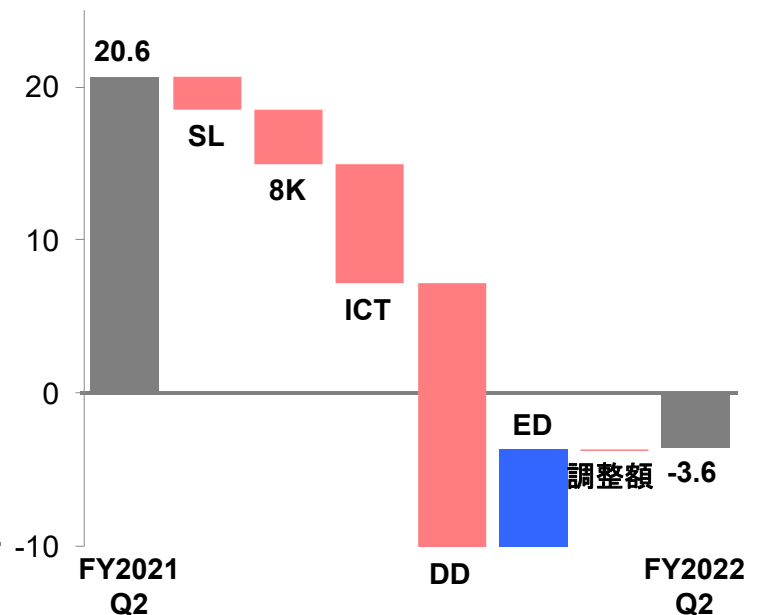
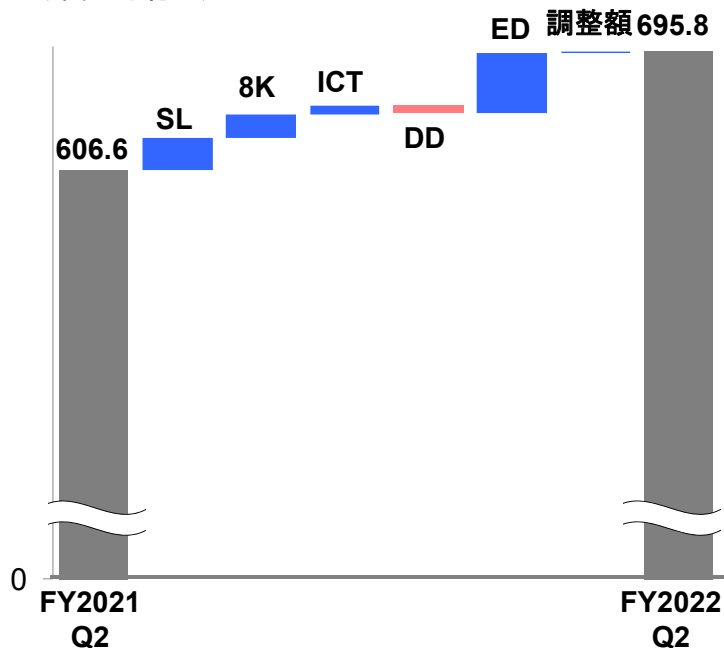
# (第2四半期) セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)

(単位:十億円)



SHARP

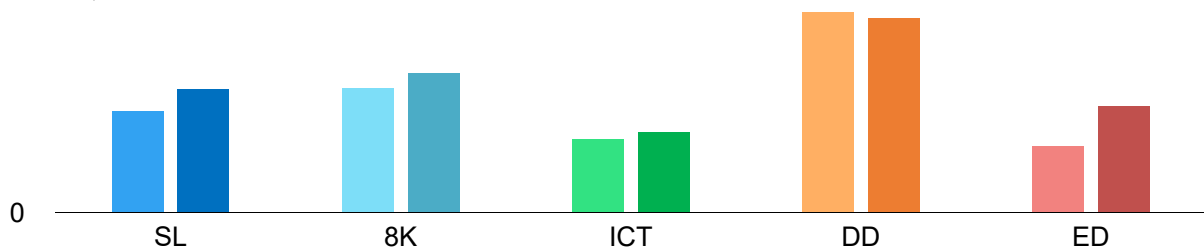
10

## (第2四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
スマートライフ	111.0	112.9	107.3	114.9	110.9	137.2	+21.5%
8Kエコシステム	137.5	138.5	148.9	142.6	139.8	155.6	+12.3%
ICT	80.2	81.8	82.2	79.6	70.0	89.4	+9.2%
ブランド事業計	328.7	333.3	338.5	337.2	320.8	382.2	+14.7%
ディスプレイデバイス	213.3	223.4	221.8	201.0	189.4	217.1	-2.8%
エレクトロニックデバイス	96.5	73.5	139.5	87.1	68.9	118.8	+61.7%
デバイス事業計	309.8	297.0	361.3	288.2	258.3	336.0	+13.1%
小計	638.6	630.3	699.9	625.4	579.2	718.3	+13.9%
調整額	-27.0	-23.7	-24.0	-23.9	-17.0	-22.4	-
合計	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8	+14.7%

左棒: FY2021Q2  
右棒: FY2022Q2



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

11

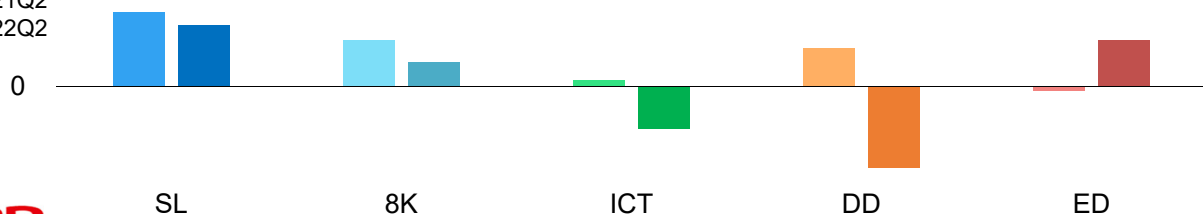
## (第2四半期)セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
スマートライフ	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)	12.1 (10.6%)	7.1 (6.4%)	9.7 (7.1%)	-17.9%
8Kエコシステム	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)	6.5 (4.6%)	4.3 (3.1%)	3.7 (2.4%)	-48.5%
ICT	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)	-1.2 (-1.6%)	-2.5 (-3.7%)	-6.7 (-7.6%)	-
ブランド事業計	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	20.7 (6.1%)	17.4 (5.2%)	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	-66.6%
ディスプレイデバイス	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)	5.3 (2.7%)	0.6 (0.3%)	-12.9 (-6.0%)	-
エレクトロニックデバイス	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)	0.9 (1.1%)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	-
デバイス事業計	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	11.2 (3.1%)	6.3 (2.2%)	0.6 (0.2%)	-5.5 (-1.7%)	-
小計	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	31.9 (4.6%)	23.7 (3.8%)	9.6 (1.7%)	1.1 (0.2%)	-95.4%
調整額	-4.9	-4.8	-7.1	-2.9	-3.4	-4.8	-
合計	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	20.8 (3.5%)	6.1 (1.1%)	-3.6 (-0.5%)	-

左棒: FY2021Q2  
右棒: FY2022Q2

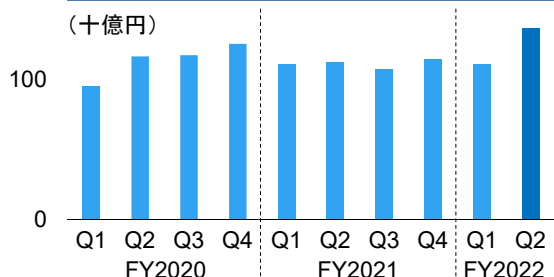


SHARP

12

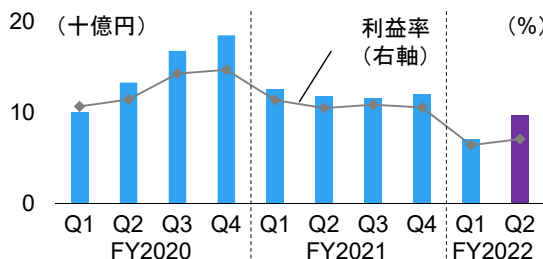
(単位:十億円)	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	111.0	112.9	107.3	114.9	110.9	137.2	+21.5%
営業利益 (利益率)	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)	12.1 (10.6%)	7.1 (6.4%)	9.7 (7.1%)	-17.9%

売上高(増収)



- (増) 海外の白物家電が、25%を上回る増収となる
  - ・アジアを中心に、エアコン・洗濯機・冷蔵庫が大きく伸長
  - ・欧米やアジアで、調理家電の売上が大きく伸長
- (増) 国内の白物家電も、エアコン・洗濯機などが伸長し、大幅な増収となる
- (増) エネルギーソリューション事業は、国内の家庭向けや海外のEPCが伸長し、大きく売上を伸ばす

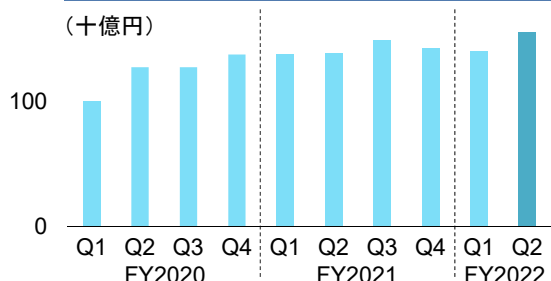
営業利益(減益)



- (減) 円安の進展
- (増) 販売増
- (増) 高付加価値化の進展

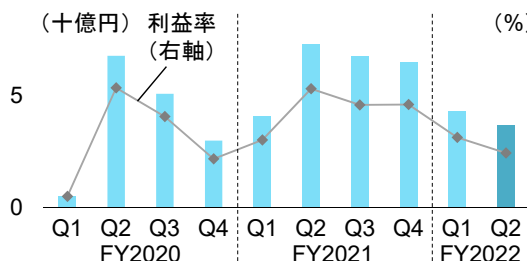
(単位:十億円)	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	137.5	138.5	148.9	142.6	139.8	155.6	+12.3%
営業利益 (利益率)	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)	6.5 (4.6%)	4.3 (3.1%)	3.7 (2.4%)	-48.5%

売上高(増収)



- (増) ビジネスソリューションが約2割の増収となる
  - ・MFP事業が、欧米や日本・アジアなど各地域で大幅に伸長
  - ・スマートオフィス事業やインフォメーションディスプレイも欧米を中心に大きく売上を伸ばす
- (増) 高付加価値化が進展している国内や、米州、アジアのテレビは伸長
- (減) 市況悪化の影響を受け、中国や欧州のテレビは減収となる

営業利益(減益)



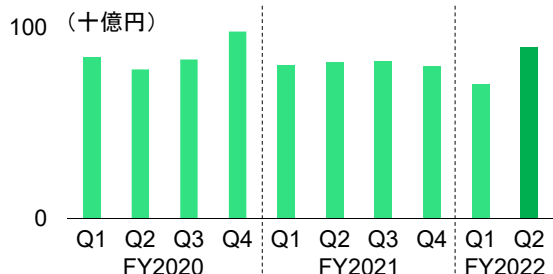
- (減) 欧州のテレビ事業などで抜本的な事業構造の見直しを推進
- (増) MFP事業やオフィスソリューション事業などが伸長



(単位:十億円)

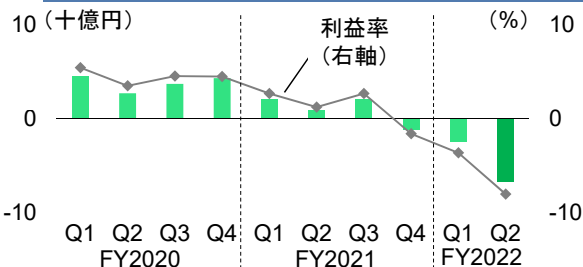
	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	80.2	81.8	82.2	79.6	70.0	89.4	+9.2%
営業利益	2.1	0.9	2.1	-1.2	-2.5	-6.7	-
(利益率)	(2.7%)	(1.2%)	(2.7%)	(-1.6%)	(-3.7%)	(-7.6%)	

売上高(増収)



- (増) 国内の個人向けPC、法人向けPCやソリューションなどが伸長
- (増) 通信事業で、環境変化に合わせ、スマートフォンのラインアップの見直しを行うとともに非スマートフォン商材を強化
- (減) 市況影響もあり、欧州や中国のPCが減収

営業利益(減益)



- (減) 円安の進展
- (増) 売価の見直し

※PC事業では、今後の収益改善に向け、欧州での構造改革を推進

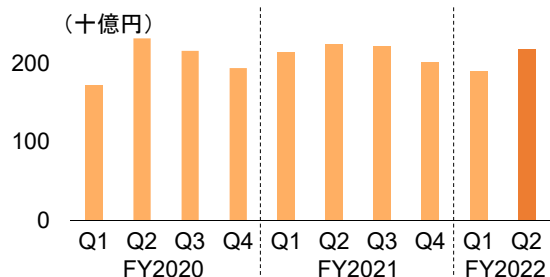
デバイス事業

ディスプレイデバイス

(単位:十億円)

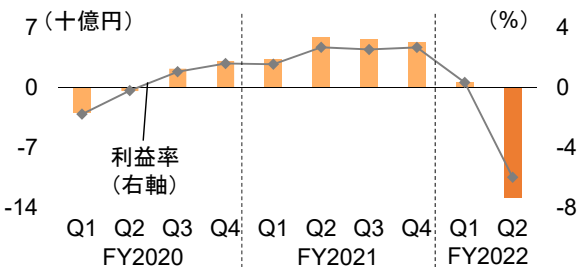
	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	213.3	223.4	221.8	201.0	189.4	217.1	-2.8%
営業利益	3.3	5.9	5.6	5.3	0.6	-12.9	-
(利益率)	(1.6%)	(2.7%)	(2.5%)	(2.7%)	(0.3%)	(-6.0%)	

売上高(減収)



- (減) ディ스플레이市況の影響
- (減) 中国ロックダウンによる生産や顧客需要への影響
- (減) スマートフォン向けパネルが減少
- (増) 車載向けパネル・VR向けパネルなどが伸長

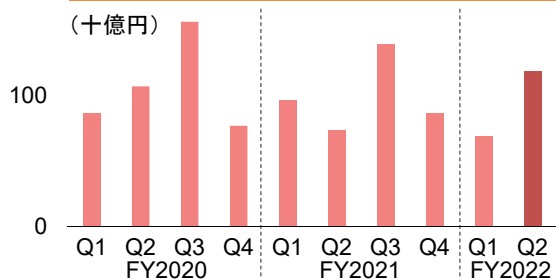
営業利益(減益)



- (減) 販売減
- (減) 堺ディスプレイプロダクト株式会社の連結影響
- (減) 大型パネルの価格が下落
- (増) 中小型パネルの収益が改善

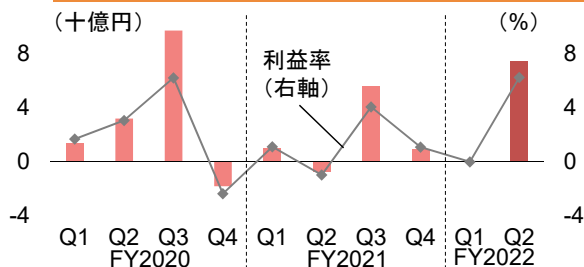
(単位:十億円)	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	96.5	73.5	139.5	87.1	68.9	118.8	+61.7%
営業利益	1.0	-0.7	5.6	0.9	0.0	7.4	-
(利益率)	(1.1%)	(-1.0%)	(4.1%)	(1.1%)	(0.0%)	(6.2%)	

売上高(増収)



- (増) 顧客の新製品に向け、速やかにデバイスを供給
- (増) 前年同期は新型コロナウイルスによる生産影響があったこと

営業利益(増益)



- (増) 販売増

# 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同 増減額
営業利益	18.3	20.6	24.8	20.8	6.1	-3.6	-24.2
営業外損益	+7.2	+4.5	+8.8	+9.5	+11.3	-3.5	-8.0
内:支払利息	-1.3	-1.1	-1.1	-0.7	-0.9	-2.6	-1.5
為替差損益	+3.2	+3.7	+5.5	+6.4	+13.0	+5.7	+2.0
投資関連収益・費用	+0.0	+2.2	+2.0	+4.8	+4.1	+1.5	-0.7
持分法による投資損益	+4.3	+2.3	-1.3	-1.7	-5.1	-7.2	-9.5
経常利益	25.6	25.2	33.7	30.3	17.4	-7.2	-32.4
特別損益	+0.7	+0.8	-1.9	-24.7	+12.2	-1.3	-2.1
内:固定資産売却益	+0.1	+0.4	+2.3	+2.2	+0.9	+1.0	+0.6
事業譲渡益	-	-	+5.9	-0.2	-	-	-
固定資産受贈益	+0.7	+0.5	-	+0.0	-	-	-0.5
段階取得に係る差益	-	-	-	-	+12.4	-	-
減損損失	-	-	-7.7	-14.9	-	-	-
事業構造改革費用	-	-	-	-	-	-1.0	-1.0
訴訟損失引当金繰入額	-	-	-	-11.7	-1.4	-0.8	-0.8
和解金	-	-	-2.7	-	-	-	-
税前利益	26.3	26.0	31.8	5.5	29.6	-8.6	-34.6
法人税等 他	-4.6	-5.2	-3.4	-2.4	-2.7	-7.9	-2.7
最終利益	21.6	20.8	28.3	3.1	26.9	-16.5	-37.3

SHARP

18

## 連結貸借対照表推移

・2022年度 第2四半期末の現預金は 2,565億円、純資産は 5,340億円、自己資本比率は 23.2%となる

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度			
	3月末	6月末	9月末	3月末	6月末	9月末	
現預金	287.3	248.6	256.5	買掛金等	422.3	450.8	477.7
売掛金等	487.1	463.6	536.3	短期借入金	54.3	67.1	91.4
棚卸資産	310.2	379.1	380.2	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	145.8	103.5	96.3	その他	331.5	357.9	382.8
<b>流動資産計</b>	<b>1,230.6</b>	<b>1,194.9</b>	<b>1,269.5</b>	<b>流動負債計</b>	<b>808.1</b>	<b>876.0</b>	<b>952.1</b>
有形固定資産	418.2	560.2	561.7	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	42.2	88.2	85.9	長期借入金	572.2	620.2	620.9
投資その他資産	265.1	318.2	309.6	その他	106.5	126.5	119.7
<b>固定資産計</b>	<b>725.6</b>	<b>966.6</b>	<b>957.4</b>	<b>固定負債計</b>	<b>678.8</b>	<b>746.8</b>	<b>740.7</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,956.2</b>	<b>2,161.6</b>	<b>2,226.9</b>	<b>純資産</b>	<b>469.2</b>	<b>538.7</b>	<b>534.0</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>1,956.2</b>	<b>2,161.6</b>	<b>2,226.9</b>
期末日レート							
ドル円	121.41	135.69	143.81	自己資本比率	23.2%	24.2%	23.2%
ユーロ円	135.27	141.15	140.82	自己資本	454.2	523.3	517.2

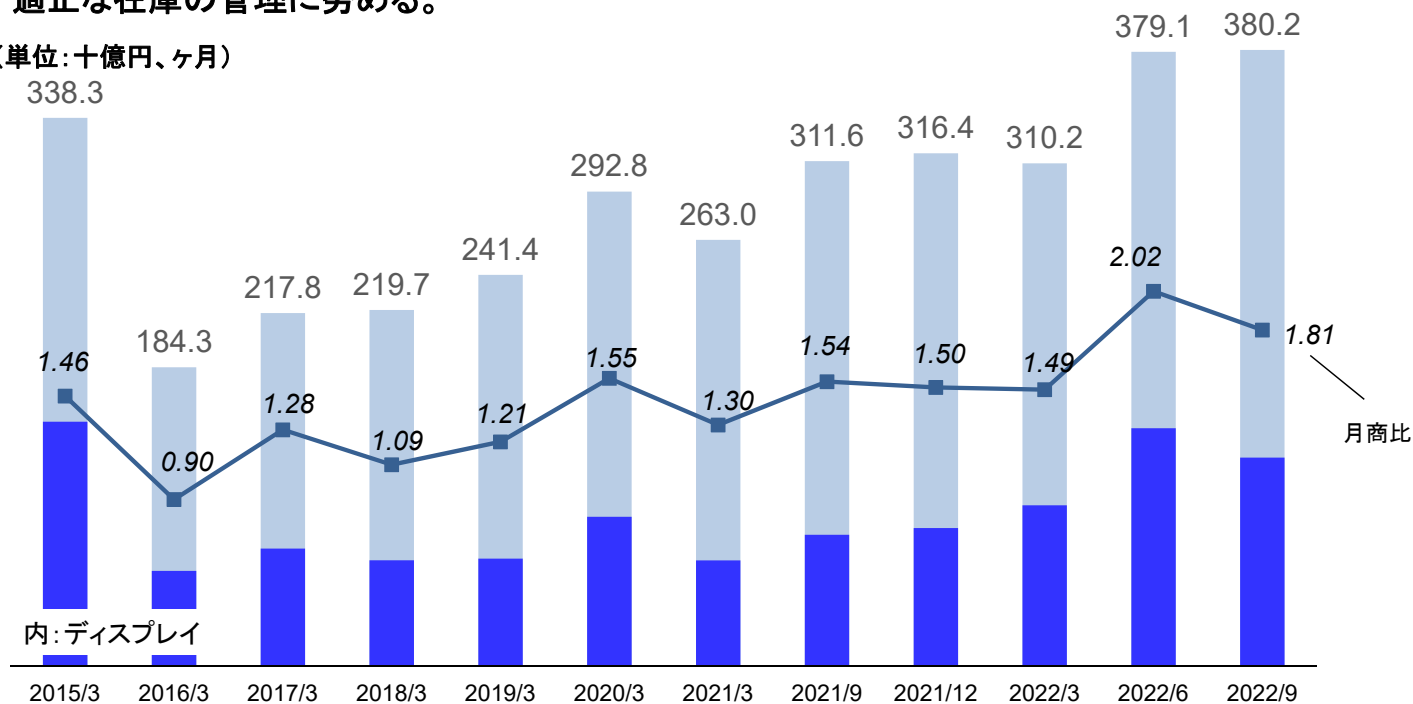
SHARP

19

## 棚卸資産の推移

- ・棚卸資産は 3,802億円、月商比では 1.81ヶ月となる。
- ・下期以降の販売計画や事業環境を考慮して在庫を確保したこと、円安影響があったことなどから、金額ベースではほぼ横ばいとなったものの、月商比は減少
- ・サプライチェーンの混乱が落ち着きつつあるなか、引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努める。

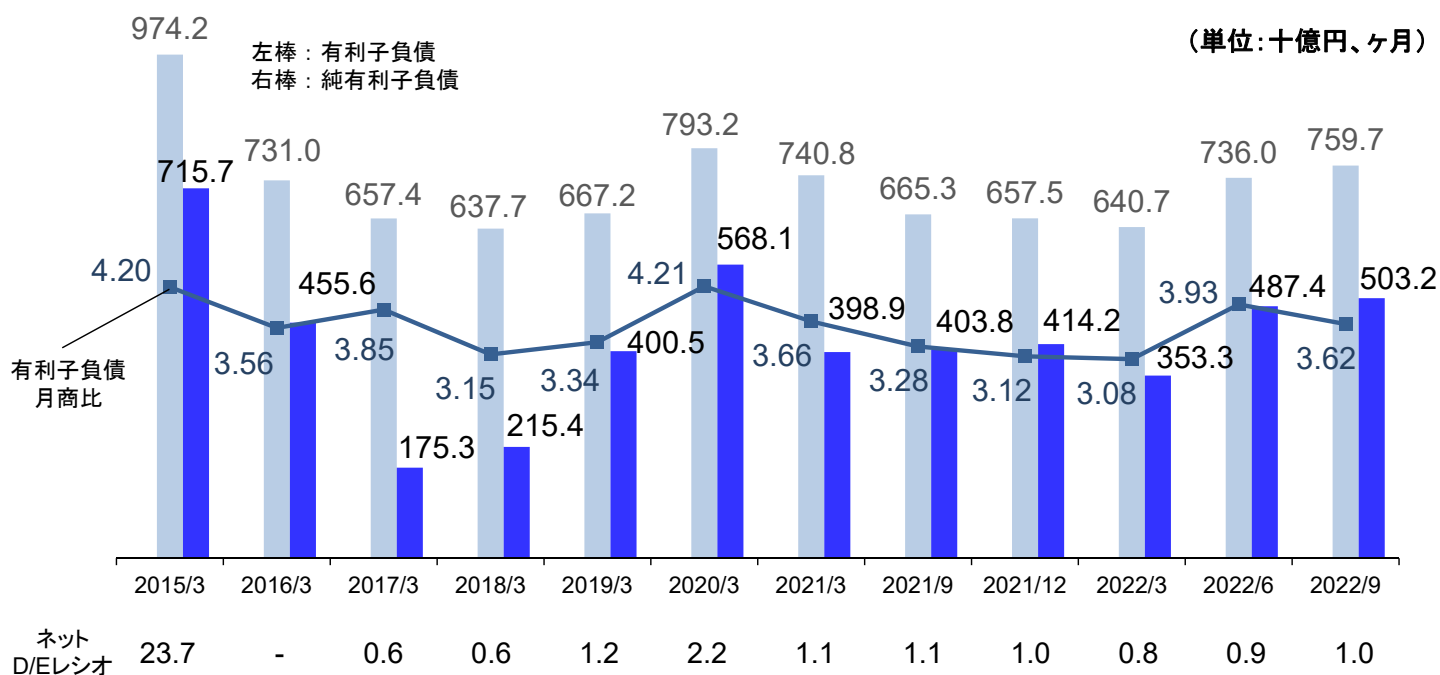
(単位:十億円、ヶ月)



※会計基準の変更があったため、2021/3以前は基準が異なる

## 有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2022年6月末比 237億円増の 7,597億円、月商比は、0.31ヶ月減の 3.62ヶ月
- ・純有利子負債※は、158億円増の 5,032億円
- ・ネットD/Eレシオは、1.0倍



※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

### Ⅲ. 2022年度 通期 業績予想

### 2022年度 連結業績予想

- ・ 円安の進展に伴う想定レートの変更、堺ディスプレイプロダクト株式会社の連結影響、ディスプレイ市況の悪化などを織り込む。

(単位:十億円)

	2021年度	2022年度					
	通期	通期 前回予想	通期 今回予想	前年比	修正額	主な修正要因	
						為替	SDP関連
売上高	2,495.5	2,700.0	2,700.0	+8.2%	-	+120.0	-44.0
営業利益 (利益率)	84.7 (3.4%)	65.0 (2.4%)	25.0 (0.9%)	-70.5%	-40.0	-26.0	-20.0
経常利益 (利益率)	114.9 (4.6%)	63.0 (2.3%)	12.0 (0.4%)	-89.6%	-51.0	-20.0	-42.0
最終利益 (利益率)	73.9 (3.0%)	50.0 (1.9%)	5.0 (0.2%)	-93.2%	-45.0	-20.0	-29.6
平均為替レート		(年間想定)	(下期想定)				
ドル円	111.38	125.00	145.00				
ユーロ円	129.06	133.00	140.00				

# 2022年度 下期の取組方針

## ■ 環境認識

プラス要因	マイナス要因 (リスク)
+ サプライチェーンの混乱が徐々に収束の方向 + 原材料価格の高騰が緩和傾向 + 物流コストの低下 + 売価適正化の動きが加速 + パネル価格が好転の兆し	- インフレや為替変動による需要減速 - エネルギーコストの上昇 - 円安の進行 - 地政学問題 - 中国ゼロコロナ政策

## ■ 取組方針：“開源節流”を徹底し、上期比で増収増益を図る。

### ① 開源(4象限経営の実践)

- ✓ 海外事業の拡大
- ✓ 高付加価値商材/サービスの展開
- ✓ 新製品/新規事業の加速

### ② 節流(筋肉質な経営体質の構築)

- ✓ コスト構造の抜本的見直し(部材コストダウン、経費削減、品質/物流コストの最小化 等)
- ✓ 不採算事業の構造改革
- ✓ 人員適正化

# 2022年度 下期のセグメント別概況

	利益率イメージ		主な取り組み
	上期	下期想定 【 】は上期比	
スマートライフ		 【増収増益】	(白物) 海外事業の拡大(ASEAN/台湾及び米州中心)、国内事業の高付加価値化 (ES) 高出力モデルなど新製品の販売拡大、欧州再エネ需要の獲得
8Kエコシステム		 【増収増益】	(BS) オフィス回帰需要の獲得(欧米中心)、ディスプレイ機器事業の強化 (TV) AQUOS XLEDや大型モデルの販売拡大、欧州構造改革
ICT		 (黒字化) 【増収増益】	(通信) スマートフォン事業のコスト構造の見直し 及び モデルミックス改善 (PC) ソリューション事業の強化、欧州構造改革、米州/豪州の収益改善
ディスプレイデバイス	中小型	 【増収増益】	(中小型) 注力3事業(PC/タブレット、車載、VR)の販売拡大 [構成比 前年下期71%→80%]
	大型		(大型) 堺ディスプレイプロダクト株式会社の構造改革
エレクトロニックデバイス		 【増収減益】	(カメラ) 既存顧客需要の取り込み、非スマートフォン事業の展開 (センサー) One SHARPでの販売拡大、IoT/ヘルスケア関連の新規開発の加速



※ES：エネルギーソリューション、BS：ビジネスソリューション

## IV. 補足資料

# 連結業績概要

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
売上高	1,218.2	1,277.3	2,495.5	1,257.9	1,442.1	2,700.0
営業利益	39.0	45.6	84.7	2.4	22.6	25.0
(利益率)	(3.2%)	(3.6%)	(3.4%)	(0.2%)	(1.6%)	(0.9%)
経常利益	50.8	64.0	114.9	10.2	1.8	12.0
(利益率)	(4.2%)	(5.0%)	(4.6%)	(0.8%)	(0.1%)	(0.4%)
最終利益	42.5	31.4	73.9	10.3	-5.3	5.0
(利益率)	(3.5%)	(2.5%)	(3.0%)	(0.8%)	(-0.4%)	(0.2%)

SHARP

補足-2

# 四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8
営業利益	18.3	20.6	24.8	20.8	6.1	-3.6
(利益率)	(3.0%)	(3.4%)	(3.7%)	(3.5%)	(1.1%)	(-0.5%)
経常利益	25.6	25.2	33.7	30.3	17.4	-7.2
(利益率)	(4.2%)	(4.2%)	(5.0%)	(5.0%)	(3.1%)	(-1.0%)
最終利益	21.6	20.8	28.3	3.1	26.9	-16.5
(利益率)	(3.5%)	(3.4%)	(4.2%)	(0.5%)	(4.8%)	(-2.4%)

SHARP

補足-3



# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	223.9	222.2	446.1	248.1
8Kエコシステム	276.0	291.5	567.6	295.4
ICT	162.1	161.9	324.0	159.4
ブランド事業 計	662.1	675.7	1,337.8	703.0
ディスプレイデバイス	436.7	422.8	859.6	406.6
エレクトロニックデバイス	170.0	226.7	396.8	187.8
デバイス事業 計	606.8	649.6	1,256.5	594.4
小計	1,269.0	1,325.3	2,594.4	1,297.5
調整額	-50.8	-47.9	-98.8	-39.5
合計	1,218.2	1,277.3	2,495.5	1,257.9

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-4

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	24.4 (10.9%)	23.8 (10.7%)	48.2 (10.8%)	16.8 (6.8%)
8Kエコシステム	11.5 (4.2%)	13.4 (4.6%)	24.9 (4.4%)	8.1 (2.8%)
ICT	3.1 (1.9%)	0.9 (0.6%)	4.0 (1.2%)	-9.3 (-5.9%)
ブランド事業 計	39.1 (5.9%)	38.1 (5.6%)	77.2 (5.8%)	15.7 (2.2%)
ディスプレイデバイス	9.3 (2.1%)	11.0 (2.6%)	20.3 (2.4%)	-12.3 (-3.0%)
エレクトロニックデバイス	0.3 (0.2%)	6.6 (2.9%)	6.9 (1.8%)	7.4 (3.9%)
デバイス事業 計	9.6 (1.6%)	17.6 (2.7%)	27.3 (2.2%)	-4.9 (-0.8%)
小計	48.8 (3.8%)	55.7 (4.2%)	104.6 (4.0%)	10.7 (0.8%)
調整額	-9.8	-10.0	-19.8	-8.3
合計	39.0 (3.2%)	45.6 (3.6%)	84.7 (3.4%)	2.4 (0.2%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-5

# 四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	111.0	112.9	107.3	114.9	110.9	137.2
8Kエコシステム	137.5	138.5	148.9	142.6	139.8	155.6
ICT	80.2	81.8	82.2	79.6	70.0	89.4
ブランド事業計	328.7	333.3	338.5	337.2	320.8	382.2
ディスプレイデバイス	213.3	223.4	221.8	201.0	189.4	217.1
エレクトロニックデバイス	96.5	73.5	139.5	87.1	68.9	118.8
デバイス事業計	309.8	297.0	361.3	288.2	258.3	336.0
小計	638.6	630.3	699.9	625.4	579.2	718.3
調整額	-27.0	-23.7	-24.0	-23.9	-17.0	-22.4
合計	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-6

# 四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)	12.1 (10.6%)	7.1 (6.4%)	9.7 (7.1%)
8Kエコシステム	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)	6.5 (4.6%)	4.3 (3.1%)	3.7 (2.4%)
ICT	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)	-1.2 (-1.6%)	-2.5 (-3.7%)	-6.7 (-7.6%)
ブランド事業計	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	20.7 (6.1%)	17.4 (5.2%)	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)
ディスプレイデバイス	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)	5.3 (2.7%)	0.6 (0.3%)	-12.9 (-6.0%)
エレクトロニックデバイス	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)	0.9 (1.1%)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)
デバイス事業計	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	11.2 (3.1%)	6.3 (2.2%)	0.6 (0.2%)	-5.5 (-1.7%)
小計	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	31.9 (4.6%)	23.7 (3.8%)	9.6 (1.7%)	1.1 (0.2%)
調整額	-4.9	-4.8	-7.1	-2.9	-3.4	-4.8
合計	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	20.8 (3.5%)	6.1 (1.1%)	-3.6 (-0.5%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-7

# 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
設備投資	30.4	21.2	51.7	20.5	64.5	85.0
内:ディスプレイ	10.4	6.1	16.5	4.2	36.8	41.0
減価償却費	31.2	34.7	65.9	36.6	43.4	80.0
研究開発費	39.9	46.3	86.2	39.9	55.1	95.0

(単位:円)

平均為替レート	2021年度			2022年度	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	108.80	113.96	111.38	132.98	145.00
ユーロ	129.39	128.73	129.06	137.22	140.00

SHARP

補足-8

# 四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
設備投資	13.4	17.0	11.0	10.2	5.0	15.5
内:ディスプレイ	7.4	3.0	2.4	3.6	0.9	3.3
減価償却費	15.3	15.9	16.8	17.9	15.6	21.0
研究開発費	19.6	20.3	19.2	27.0	18.7	21.1

(単位:円)

平均為替レート	2021年度				2022年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
米ドル	108.49	109.11	112.71	115.21	128.57	137.38
ユーロ	130.45	128.33	128.57	128.90	136.60	137.84

SHARP

補足-9

### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)または、親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、8Kエコシステム(8K)、ICT(ICT)、ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

**SHARP**

# SHARP

Be Original.

